

大都市近郊におけるマーケットインな農産物生産の実践【神奈川県三浦市】

みうらし

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 耕作放棄されていた農地を改良し、効率的な作業が可能な畑として整備することで、露地野菜の生産が拡大。
- **大都市近郊の立地を最大限に活用**することで、**外食産業との契約栽培や消費ニーズに即したマーケットインによる農業生産を実践**。
- 若手農業者や女性農業者がそれぞれの視点を活かした経営を展開し、地域農業の発展に寄与している。

営農条件の良好な農地の造成と新規作物の導入

- 谷戸を埋め畑地を造成(平成2年～平成20年)。
- 農地の拡大を通じて、農業機械の導入など営農条件の改善及び高収益作物への転換を図るほか、近年では、農産物の更なる高品質化に向け、畑地かんがい施設等を整備中。
- 良好な営農条件の下、**大都市近郊の立地を活かした農業**が展開されている。



基盤整備

(H2年～H20年)
(H27年～H33年)

【整備前】

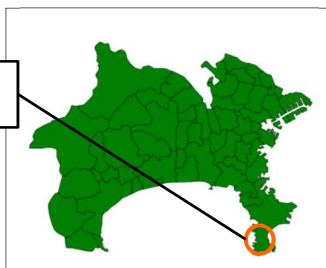
三浦半島特有の丘陵地の間の入り組んだ谷(谷戸)は、周囲の水が集まるため水田として利用されていたが、狭小な湿田であり、**農作業に多大な労力を要することから、昭和50年代以降は耕作放棄地の発生が相次いでいた。**



【取組地域の概要】

- 位置 みうらし
神奈川県三浦市

もろいそこあじろ
諸磯小網代



- 主要作物
ダイコン、キャベツ、スイカ、かぼちゃ、メロン など
- 主な支援施策
 - 基盤整備促進事業(団体営)(農用地の造成)(H2～H20)
 - 農業競争力強化基盤整備事業(畑地帯担い手育成型)(H27～H33)

生産現場

「かながわブランド」野菜の栽培を促進

- 基盤整備による良好な営農条件の下、「かながわブランド」野菜などの**高収益作物の導入を生産者自らの経営判断で取り組む**。



加工・流通

消費者ニーズを捉えた野菜の生産

- 大都市近郊の立地を最大限に活かし、**外食産業との契約栽培や消費者ニーズに合った少量多品種の露地野菜を生産**。
- **イタリアン野菜を、大都市のレストランや居酒屋へ直接出荷**。



担い手

農業後継者グループが地域農業をけん引

- **専業農家の後継者が「みどり会」を結成**し、地域の中心となって農業をけん引。
- 都市在住の親子を対象とした農業体験イベントも毎年実施(直近3年間延べ参加人数353人)



高収益作物の栽培による担い手農家の販売額増加

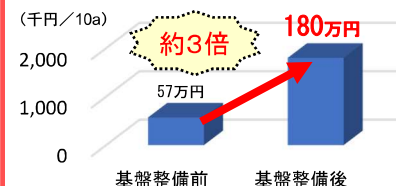
- 用水の安定確保により、**「かながわブランド」の野菜作付けが拡大**。
- 大都市近郊の立地条件を最大限に活かし、**消費者のニーズに即したマーケットインな農業生産を実践**。安定的な販路の確保及び契約栽培による高単価での販売により、**農家の単位面積当たりの販売額が大きく増加**。

【高収益作物の作付】

すいか	8.6ha
三浦かぼちゃ	0.9ha
青首だいこん	17.4ha
早春キャベツ	17.4ha
冬瓜	0.3ha



【担い手農家における10a当たりの販売額】



多品種のイタリアン野菜
【担い手農家からの聞き取りによる】